

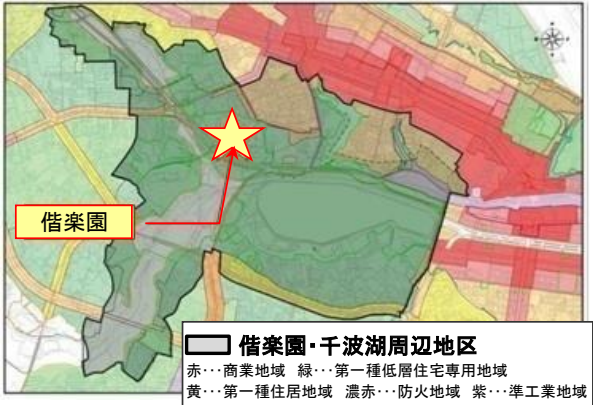
令和２年度進行管理・評価シート
水戸市 歴史的風致維持向上計画（平成31年３月26日認定）
（最終変更 令和３年２月15日）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)	
1 ①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討/②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進/③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)	
1 水戸市景観計画の活用	2
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)	
1 弘道館公園整備事業	3
2 偕楽園公園整備事業	4
3 保和苑整備事業	5
4 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業	6
5 千波公園整備事業	7
6 都市景観形成助成事業	8
7 水戸駅前三の丸地区市街地再開発事業	9
8 三の丸地区周辺景観整備事業	10
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)	
1 水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業	11
2 民俗芸能実演支援事業	12
3 文化財・まちなみ巡り事業	13
4 観光周遊バス運行事業	14
5 歴史的風致に関連した祭り開催支援事業	15
6 歴史的風致情報発信推進事業	16
7 文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進	17
8 文化財の修理、整備、防災事業の推進	18
9 文化財に関する普及・啓発の推進	19
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)	
1 水戸市地域文化財「保和苑」を認定	20～21
⑥その他(効果等)(様式1-6)	
1 水戸市への観光客数の推移	22
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	23

評価軸①-1
組織体制

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
①水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループによる課題検討 ②水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会の推進 ③水戸市歴史的風致維持向上計画協議会の実施			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	○水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ:計画の推進及び変更に係る課題の調査及び検討 ○水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会:計画の策定及び推進に伴う庁内の連絡調整を所掌 ○水戸市歴史的風致維持向上計画協議会:計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を所掌		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
「水戸市歴史的風致維持向上計画協議会」を開催し、計画の策定及び変更並びに実施に係る連絡調整を行った。なお、「水戸市歴史的風致維持向上計画検討委員会」及び「水戸市歴史まちづくり推進ワーキンググループ」については、開催に要する議題がなかったことから今年度は開催しなかった。 【各会議の実施回数】水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (1回)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
水戸市歴史的風致維持向上計画協議会 (会長:学識経験者, 委員:県関係課長及び市関係部長) ○第1回 : 令和2年7月1日開催 ・令和元年度進行管理・評価シートについて			
			

進捗評価シート		(様式1-2)
評価軸②-1 重点区域における良好な景観を形成する施策		
項目		評価対象年度 令和2年度
		現在の状況
水戸市景観計画の活用		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	水戸市景観計画に基づき、重点区域内の4つの地区(三の丸周辺地区、偕楽園周辺地区、保和苑周辺地区、備前堀周辺地区)を重点的に景観形成を図る地区として位置づけ、それぞれの景観形成方針の下に重点的に景観形成を図ることとしている。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
①大規模建築物等の景観誘導:水戸市景観計画(平成20年度策定)及び景観法により、良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)の事前届出制度による景観誘導を図った。(令和2年度届出件数:58件(水戸市全域)) ②高度地区による建築物の高さの制限:重点区域を含む市街化区域全域(既に高さ規制のある地域を除く)について、高度地区の都市計画決定(平成22年度)により、歴史的資源や自然景観の保全、良好な住環境の保全及び秩序ある都市環境の創出を図った。 ③屋外広告物の行為の制限:水戸市屋外広告物条例(平成22年度施行)により、重点区域内の「偕楽園・千波湖周辺地区」及び「弘道館・水戸城跡周辺地区」を屋外広告物特別規制地区に指定することで規制を強化し、良好な眺望景観の保全を図った(令和2年度許可件数:550件(水戸市全域))。既存不適格広告物に関しては、条例に適合するよう是正指導を行い、撤去又は改修を促し、一定の効果をあげた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	水戸市景観計画ほか景観関係施策に基づき、歴史的資源や自然景観の保全を引き続き実施する。	
状況を示す写真や資料等		
①大規模建築物等の景観誘導 良好な景観の形成に支障を及ぼす行為(大規模建築物等)について、事前届出制度による景観誘導を図っている(対象区域:水戸市全域)。		
②高度地区による建築物の高さの制限 重要な歴史的資源や自然等の良好な景観を保全する地区については、地域の特性に応じた規制値を設定した。 【良好な景観を保全する地区】 ●水戸駅北口地区、●弘道館周辺地区、●芸術館周辺地区、●偕楽園周辺地区、●備前堀周辺地区、他		
③屋外広告物の行為の制限 弘道館や偕楽園等の水戸を代表する魅力ある眺望景観の保全を図るため、水戸市景観計画において、屋外広告物の行為の制限について特に重点的に景観形成を図る区域と位置づけた区域を、「屋外広告物特別規制地区」に指定した。これらの地区については、高い位置に設置が可能となる屋上利用広告物などを規制することにより、良好な眺望景観を保全することを目指す(条例第6条)。 【規制内容】 これらの地区では、次の屋外広告物は表示できない。 ●アドバルーン ●屋上利用広告物 ●電光装置等を用いる屋外広告物(電光ニュース・ビジュアルボード等) また、次の基準を満たす必要がある。 ●表示面積の1/4を超えて彩度8を超える色彩を使用しないこと。 ●蛍光、発光又は反射を伴う塗料又は材料を使用しないこと。 ●ネオン、点滅する照明、回転灯等を使用しないこと。		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

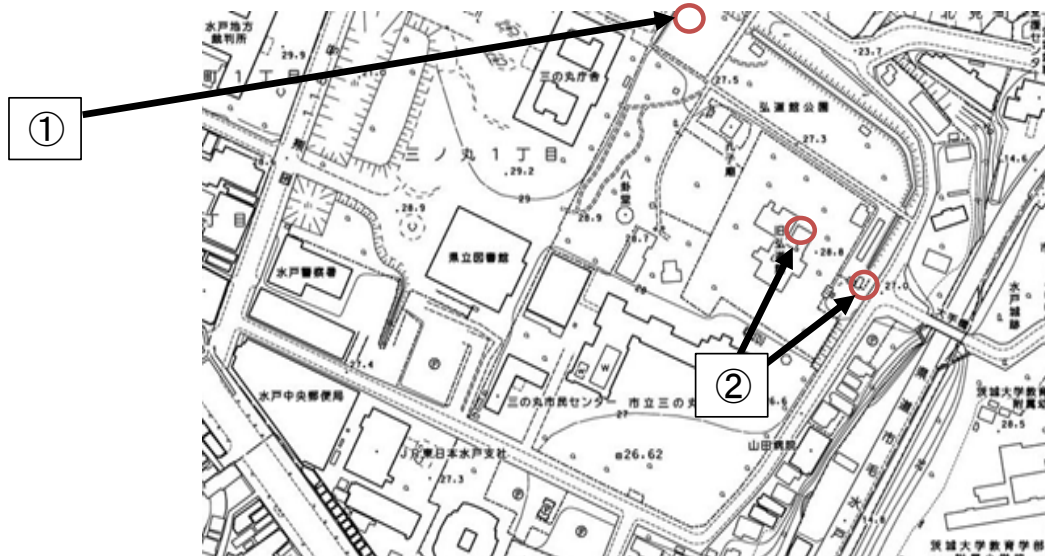
評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
弘道館公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成29年度～令和10年度	
支援事業名	歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業	
計画に記載している内容	「旧弘道館」保存活用計画書」に基づき、段階的に整備を進めていく。 ①公開方法に関する整備②情報提供に関する整備 ③公園施設の活用に関する整備④藩校時代の諸施設の再現検討	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
弘道館の歴史性を踏まえた環境整備を進め、文化的価値の向上を図るため、令和2年度は次に掲げる事業に着手した。 ①弘道館公衆トイレ改修 ②番所・国老詰所改修		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		

状況を示す写真や資料等

②番所改修前

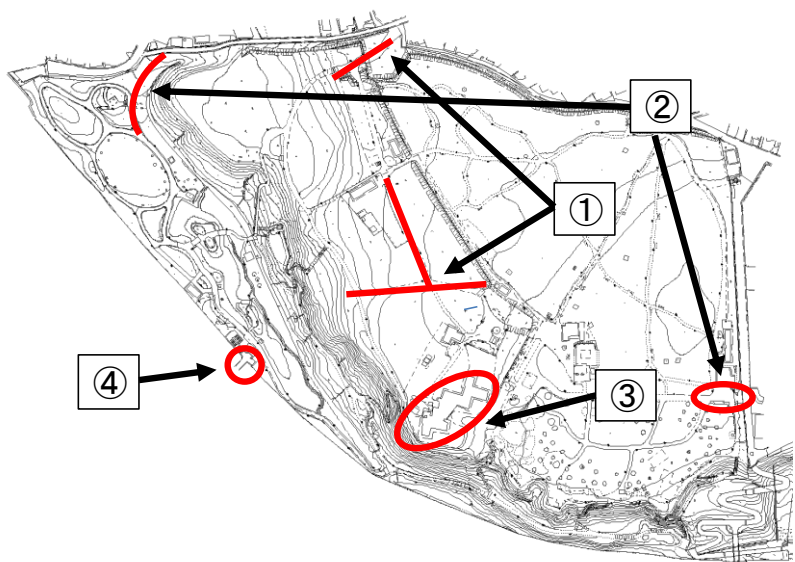


②番所改修後



評価軸③-2

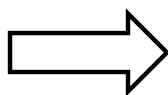
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
偕楽園公園整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成19年度～令和10年度	
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業) 歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	
計画に記載している内容	「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、段階的な整備を進めていく。 ①偕楽園の文化財価値の向上:好文亭の耐震化など歴史的建造物の整備、梅の後継木育成、景観整備、本来の歩行導線整備など ②利用者の満足度向上:ユニバーサルデザインをふまえた公開ルートの整備、わかりやすい解説板整備、トイレ洋式化、南崖のライトアップなど	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
偕楽園の環境整備を進めるため、令和2年度は次に掲げる事業に着手した。 ①砂利園路改修工事(L=260m) ③好文亭(楽寿楼)耐震補強工事 ②石張園路改修工事(L=122m) ④梅桜橋エレベータ改修工事		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
②石張園路改修前  ➡ ②石張園路改修後   (偕楽園園内)		

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和2年度	
項目	現在の状況
保和苑整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成28年度～令和4年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市公園等事業)
計画に記載している内容	園内の継続的な整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上を図るとともに、周辺のまちなみと調和した景観づくりを進めていく。 ①西側の修景施設整備:植栽と散策路、及び休憩施設の配置 ②園路の整備:バリアフリーに配慮したスロープの設置、西側の修景施設をつなぐ園路整備
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
令和2年度においては、修景施設整備工事(竹垣設置 L=44.4m)を行った(令和3年度完成予定)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上計画に基づき、歴史的風致との調和を図りつつ西側修景施設や園路整備を行うことで、保和苑のより一層の魅力向上に努める。
状況を示す写真や資料等	


 施工箇所
 施工前

 施工中
 (R3年度完成予定)


評価軸③-4

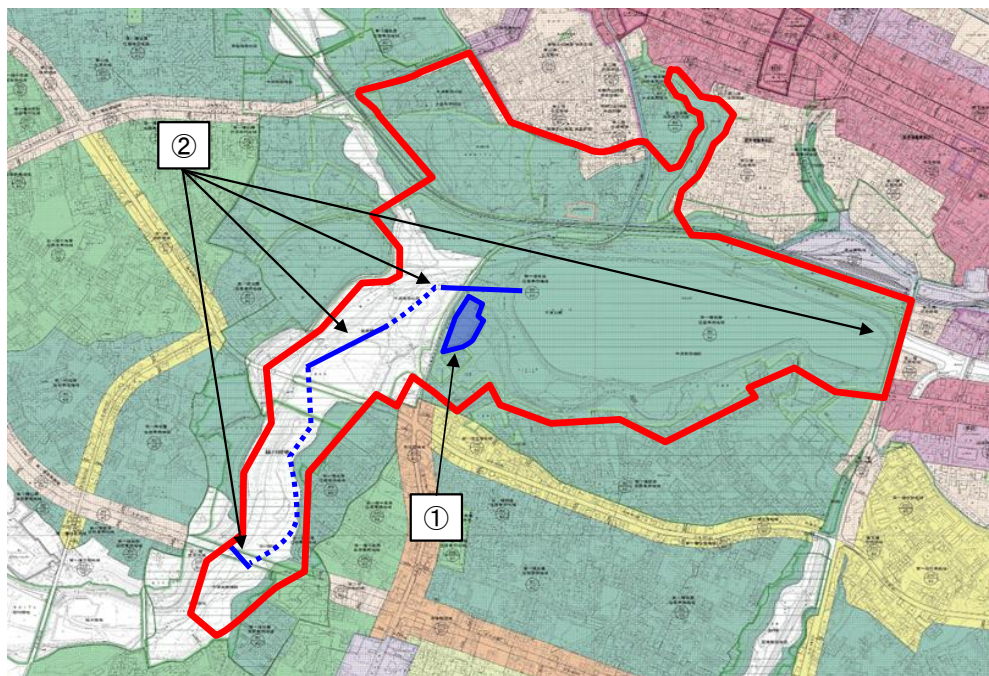
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

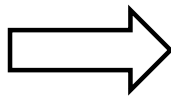
項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成28年度～令和3年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	市民との協働により、水戸城の復元・整備を行う。 ①水戸城大手門の復元 ②二の丸角櫓の復元 ③大手門と二の丸角櫓周辺の土堀の整備 ④二の丸角櫓へのアプローチの整備		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
①大手門: 令和元年度に工事完成, 供用開始 ②二の丸角櫓: 令和2年10月に本体工事完成, 令和3年3月に外構工事完成, 角櫓内部は建物に影響を及ぼさない範囲で展示機能を設置 ③土堀: 令和2年10月に工事完成 ④アプローチ: 令和2年12月着工, 令和3年6月に工事完成予定			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響で、アプローチの工期が延びた。二の丸角櫓の内部公開のため、早急な整備を進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
復元及び整備工事が完了した二の丸角櫓・土堀(外観)		二の丸角櫓(敷地内部より)	
			
二の丸角櫓(建物内部)		二の丸角櫓アプローチ整備(工事中)	
			

評価軸③-5

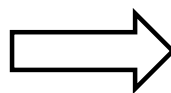
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
		現在の状況	
千波公園整備事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
事業期間	平成30年度～令和10年度		
支援事業名	都市構造再編集集中支援事業（個別補助）		
計画に記載している内容	偕楽園や隣接する桜川緑地、沢渡川緑地、紀州堀緑地、逆川緑地を含めた大規模公園として整備を行い、景観形成を図る。 ①千波公園の各広場等の整備②千波公園拡張部の整備③千波湖の水質浄化		
定性的・定量的評価（自由記述）※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度においては、令和元年度において取得したボウリング場跡地の整地、湖の水質浄化のための導水施設整備を行った。具体的な施工箇所は以下の通り。 ①ボウリング場（レイクサイドボウル）跡地整備 ②導水施設整備			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		千波公園においては、パークPFI事業等さらなる賑わいの創出が課題となっており、歴史的風致との調和を図りつつ園内施設や千波湖の水質改善に努め、課題に取り組む。	
状況を示す写真や資料等			


 施工箇所
 施工前 ①

 施工中
 (R3年度完成予定) ①


②



②



評価軸③-6

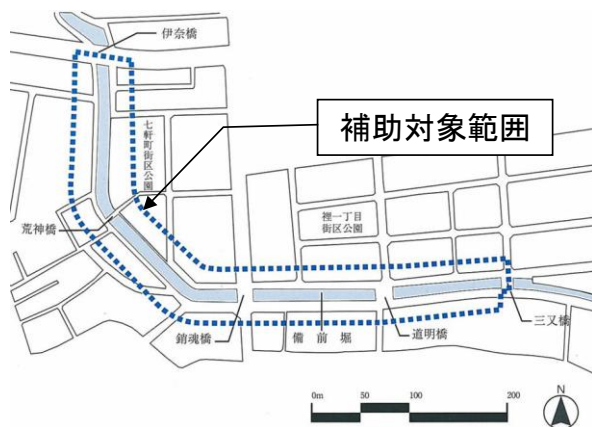
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
都市景観形成助成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成15年度～令和10年度	
支援事業名	市単独事業	
計画に記載している内容	都市景観重点地区(備前堀沿道地区／弘道館・水戸城跡周辺地区)における、優れた都市景観づくりに寄与する下記のような行為に対して助成金を交付し、地区の歴史性などと調和した景観づくりを推進していく。 ①建築物等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち外観に係るもの ②門、塀又は擁壁、石垣等の新築、増築、改築又は移転に係る工事のうち、外構に係るもの ③オープンスペースの整備に係るもの ④建築等の外観を変更することとなる修繕、模様替又は色彩の変更に係るもの 等	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和元年度に水戸市都市景観形成補助金を改定し、弘道館・水戸城跡周辺地区も補助金交付の対象地域とした。		
令和2年度実績		
○備前堀沿道地区(申請0件, 交付0件)		
○弘道館・水戸城跡周辺地区(申請1件, 交付1件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	備前堀沿道地区ではこれまで建造物12件に対し補助金を交付した実績があり、着実に進捗している。弘道館・水戸城跡周辺地区においても、制度の活用を積極的に働きかけ、歴史的景観を活かした都市景観の形成や維持向上に努める。	

状況を示す写真や資料等

◆水戸市都市景観形成補助金事業対象

○備前堀沿道地区



○弘道館・水戸城跡周辺地区



水戸市-9

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度			
			現在の状況			
三の丸地区周辺景観整備事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
事業期間	平成31年度～令和10年度					
支援事業名	市単独事業					
計画に記載している内容	三の丸地区周辺の電線地中化や道路の拡幅、車道・歩道の再整備と、あわせて沿道周辺の広場の整備などを行う。					
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で						
三の丸地区周辺の電線地中化(予定594m, うち500m完了)						
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)					
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	水戸市第6次総合計画の3か年実施計画の策定において、事業内容の検討を進める。					
状況を示す写真や資料等						
第1期計画において実施した北三の丸通り(都市計画道路3・4・14号栄町若宮線)の道路改良						
整備前		整備後				
						
						

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
水戸市民俗芸能文化財等伝承事業補助金交付事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容 無形民俗文化財等の伝承保存及び後継者育成を図るため、下記の活動に対し補助金を交付する。 ①水戸市郷土民俗芸能のつどい事業費助成事業 ②水戸市民俗芸能団体協議会事業費助成事業 ③大串のささらばやし伝承保存及び後継者育成事業		定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
5団体(大串ささらばやし保存会、大野みろくばやし保存会、杖友会、向井町散々楽保存会、水戸若鷺会)に対し補助金を交付した。 ・交付金額:560千円		進捗状況 ※計画年次との対応 ☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	
		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	

状況を示す写真や資料等

大串ささらばやし保存会



大野みろくばやし保存会



杖友会(田谷の棒術保存会)



水戸若鷺会



向井町散々楽保存会



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
民俗芸能実演支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本市に伝わる民俗芸能を幅広く市民に周知するため、市主催のイベントを中心に、実演の機会を提供している。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和3年度開催予定の市郷土民俗芸能のつどいに向けて各団体との調整を行った。(令和2年度開催中止) 茨城県郷土民俗芸能の集いへの各団体への参加を支援した。(開催中止)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染症の影響により、市主催のイベントや県主催、民俗芸能保存団体主催のイベントが開催中止を余儀なくされ、実演機会の確保に困難が生じた。今後は感染症対策を講じながら、各地域内でのイベントの参加を促し、伝統芸能の伝承、公開に努める。	
状況を示す写真や資料等		
○令和元年度の風土記の丘ふるさとまつり(令和元年11月10日、会場:大串貝塚ふれあい公園)における民俗芸能実演の様子  記録作成等の措置を講ずべき 国選択無形民俗文化財 「大串ささらばやし」  記録作成等の措置を講ずべき 国選択無形民俗文化財 「大野みろくばやし」		

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		令和2年度	令和2年度
項目		現在の状況	
文化財・まちなみ巡り事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手	
計画に記載している内容	本市内や本市ゆかりの場所にある文化財やまちなみを訪問する水戸郷土かるためぐりや史跡めぐりを実施し、本市の歴史や文化などへの理解を深める機会を提供していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
水戸郷土かるためぐり: 令和2年7～8月に市内の小学生親子40名を対象に、大手門や弘道館を巡る事業を企画した。(中止)			
史跡めぐり: 令和2年10月に市内40名を対象に、県外の教育遺産を巡る事業を企画した。(中止)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐計画どおり進捗している ☒計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予定していた事業が中止を余儀なくされた。今後は感染症対策を講じながら、開催可能性を検討していく。	

状況を示す写真や資料等

○令和元年度開催した水戸郷土かるためぐりの様子



○令和元年度開催した史跡めぐりの様子



評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和2年度
観光周遊バス運行事業		現在の状況
		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容 梅まつりなど、花の名所で開催されるイベントに合わせて観光周遊バスを運行し、偕楽園や弘道館など歴史的資源を周遊する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

○観光漫遊バス～桜とライトアップ編～の運行

期日: 令和3年3月27日(土)、28日(日)

ルート: 水戸駅南口→(弘道館周辺)→水戸大手門広場→水戸学の道→水戸市水道低区配水塔→水戸芸術館→護国神社前→(偕楽園周辺)→千波湖西駐車場→水戸駅南口

※水戸学の道、水戸市水道低区配水塔、水戸芸術館は停車しない。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で、各まつりやイベント等が中止となり、令和2年度に予定していた水戸のGW満喫編(5月上旬)、あじさいの名所編(6月下旬)、水戸の萩まつり編(9月下旬)、秋の水戸満喫編(11月中旬～下旬)の運行は中止となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☐計画どおり進捗している
☒計画どおり進捗していない

バスの定員数を減らし運行本数を増やすなど、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、従来以上に効率的かつ効果的な運行を行うことが課題となっている。今後は新たな魅力の創出のため、環境に優しい電気バスや、観光要素の高いスカイバスの選定・導入も検討していく。

状況を示す写真や資料等

観光漫遊バス～桜とライトアップ編～のチラシ



進捗評価シート		(様式1-4)			
評価軸④-5 文化財の保存又は活用に関する事項					
項目		評価対象年度 令和2年度 現在の状況			
歴史的風致に関連した祭り開催支援事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手			
計画に記載している内容	梅まつり(偕楽園周辺)や水戸黄門まつり(東照宮周辺)など、歴史的風致内で実施されるイベントの開催にあたり、補助金を交付し、企画・実施からPRまで幅広い支援を行うことで、市民や観光客の歴史的風致に対する興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる様々な活動への参加を促進していく。				
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で					
・水戸のあじさいまつり ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止とした。 会場:保和苑及び周辺史跡 主なイベント:野点茶会、写真撮影大会 等 ・水戸黄門まつり ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度は中止とし、リモートにて開催した。 会場:千波湖及び国道50号(水戸駅北口～大工町交差点間) 主なイベント:花火、神輿渡御、山車巡行、提灯行列 等 ・水戸の梅まつり ※新型コロナウイルスの影響により令和2年度は開幕を延期しての開催とした。 期間:令和3年3月1日(土)～3月21日(日)、会場:偕楽園・弘道館 主なイベント:武道演武、野点茶会等 ※新型コロナウイルスの影響により中止とした。					
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度のイベントはほとんど中止となった。今後は各種安全対策を講じながらイベントを実施する手法を検討し、引き続き、本市の歴史や文化への興味・関心を高め、歴史的風致の維持・向上につながる取組を行っていく。			
状況を示す写真や資料等					
 「Remote水戸黄門まつり」とは 令和2年、世界的に新型コロナウイルスが猛威を奮い、日本においても、各地のイベントやまつりが、参加者の安全確保が困難となったこと等を理由に、開催を中止とせざるを得なくなりました。水戸黄門まつりにおいても、開催準備を開始する4月に、断腸の思いで令和2年度の開催中止を決定しました。 しかし、新型コロナウイルスにおける影響が長期化するなか、「水戸の夏にみんなでできることは何かないか」「来客は難しい状況だが、練習を重ねてきた演者が演技を披露する機会をつくることはできないか」と、水戸黄門まつり実行委員会では検討を続けてきました。 そしてこの度、現状求められている3密を回避しつつ、みんなでできることとして、「Remote水戸黄門まつり」の開催を決定いたしました。 「Remote水戸黄門まつり」とは、演者の演技映像や過去の水戸黄門まつりの映像を自宅やスマートフォンで楽しむことのできるイベントです。 実行委員会でも盛りだくさんの映像に加え、皆様からもご提供いただいた映像を心ゆくまでお楽しみください。 さらに、皆様から集まった演技映像について、一般の方々の投票によるコンテストを実施し、入賞者には「Remote水戸黄門まつり」限定提灯の贈品と表彰を行います。 ぜひ、皆様も参加者として「Remote水戸黄門まつり」にご参加ください！ 主なコンテンツ <table border="1"> <tr> <td>Remoteステージコンテスト 演者がRemoteで大集合！一般投票によるコンテストを実施！演技も投票も参加しよう！！</td> <td>Remote水戸黄門まつり会場 みんなから見た水戸黄門まつり！大迫力の花火、目の前を通る神輿や山車からまつりの熱を感じよう！</td> <td>メッセージボード みんなの声を届ける映像掲示板！来年への意気込みや水戸黄門まつりへの想い等を綴ろう！</td> </tr> </table>  弘道館周辺での夜梅祭 ※第125回水戸の梅まつりの様子			Remoteステージコンテスト 演者がRemoteで大集合！一般投票によるコンテストを実施！演技も投票も参加しよう！！	Remote水戸黄門まつり会場 みんなから見た水戸黄門まつり！大迫力の花火、目の前を通る神輿や山車からまつりの熱を感じよう！	メッセージボード みんなの声を届ける映像掲示板！来年への意気込みや水戸黄門まつりへの想い等を綴ろう！
Remoteステージコンテスト 演者がRemoteで大集合！一般投票によるコンテストを実施！演技も投票も参加しよう！！	Remote水戸黄門まつり会場 みんなから見た水戸黄門まつり！大迫力の花火、目の前を通る神輿や山車からまつりの熱を感じよう！	メッセージボード みんなの声を届ける映像掲示板！来年への意気込みや水戸黄門まつりへの想い等を綴ろう！			

評価軸④-6

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
歴史的風致情報発信推進事業		☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	市広報誌やSNSを活用した文化財や関連行事に関する情報発信、さらには文化遺産説明板の設置を行い、市民の歴史・文化に対する理解を深めていく。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
市広報誌・SNS・市HP: 水戸市地域文化財募集記事, 水戸城歴史的建造物復元工事の進捗状況などの記事を掲載 文化遺産説明板: 河和田城(新設), 保和苑(新設), 御製碑(修繕)		
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		市の主催事業や取組みを優先的に紹介しており、歴史的風致に関する情報を網羅できていない。市広報担当課や観光部門及び外部の団体と相互に情報提供できる仕組みの構築を検討したい。 整備の進んだ水戸城大手門・二の丸角櫓周辺について、説明板の設置が不足している箇所があるため、次年度以降に設置を進める。
状況を示す写真や資料等		



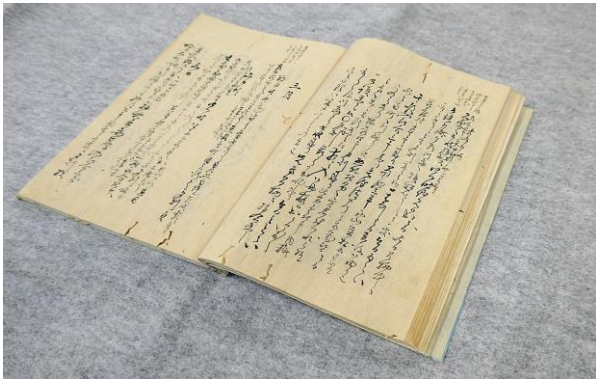
市広報誌「広報みと」令和2年4月15日号
地域文化財の紹介、募集記事



文化遺産説明板(河和田城)

評価軸④-7

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度
			現在の状況
文化財指定、調査、保存活用計画策定等の推進			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	市内に存在する歴史的に価値の高い文化財を、取扱に関する啓発の不足、開発及び生活環境の変化による消滅・損壊から積極的に保護するため、種類別に調査を実施し、実態の把握や文化財の指定に努め、効果的な保存・管理を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
【令和2年度に実施した文化財の調査】 ①石河明善日記(市指定文化財)の翻刻(16回)、関連講座の開催(2回) ②市指定天然記念物ヒカリモの調査(7回) ③国指定史跡台渡里官衙遺跡群の発掘調査 ④地域文化財認定候補案件調査(3件)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
文化財の調査			
石河明善日記の調査  ヒカリモの調査  台渡里官衙遺跡群発掘調査  			

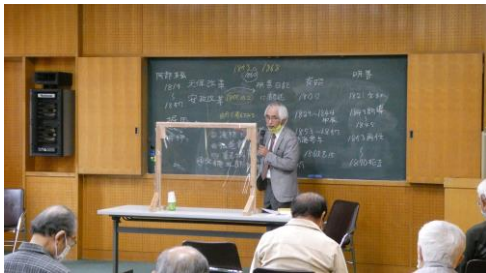
評価軸④-8

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目	現在の状況	
文化財の修理、整備、防災事業の推進	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
計画に記載している内容	【文化財の修理・整備】文化財に対する保護・整備を拡充するため、所有者・管理者等との連携を図り、必要に応じて修理・整備に努める。 【文化財の防災】防災体制、設備の整備を図るとともに、防災訓練や啓発事業を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【文化財の修理事業】 ○六地藏寺典籍文書保存修理事業 昭和48年から、六地藏寺に伝わる六地藏寺所蔵典籍・文書(県指定文化財)の保存修理を順次実施し、令和2年度は15点の文書等の裏打ち補修を実施した。今年度までに合計1529点の修理全てが完了した。 ○綿引家住宅保存修理事業 綿引家住宅(県指定文化財)の来年度の修繕に向けて、所有者との協議を行った。 ○会沢正志斎の墓保存修理事業 墓石が破損した会沢正志斎の墓(市指定文化財)について、管理者へ応急処置の助言を行うとともに、来年度以降の修繕に向けて、修繕方法検討のための調査及び管理者との協議を行った。 ○絹本著色 聖徳太子絵伝(断簡)保存修理事業 絹本著色 聖徳太子絵伝(断簡)(市指定文化財)の修繕に向けて、文化財の調査及び管理者との協議を行った。		
【文化財の防災事業】 ○文化財防火デーの企画(令和3年1月26日、於:六地藏寺、中止) 文化財所有者や近隣住民に対して文化財愛護と防火意識の高揚を図るため、国指定文化財「朱漆足付盥」他23件が管理されている六地藏寺からの出火を想定した防災訓練を企画した。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		
状況を示す写真や資料等		
【文化財の修理事業】 六地藏寺典籍文書保存修理事業		
 修理前 →  修理後		

評価軸④-9

文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度		令和2年度
項目		現在の状況
文化財に関する普及・啓発の推進		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	史跡めぐりや水戸郷土かるた関連事業をはじめとする各種普及・啓発事業を推進し、市民の歴史・文化に対する意識向上を図る。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
【令和2年度に実施した主な文化財普及・啓発関連事業】 ①令和2年4月1日～5日・8月1日～15日・11月1日～7日・19日～25日・12月18日～令和3年1月11日 文化財ライトアップ 場所:水戸市水道低区配水塔 ②令和2年10月3日 みと歴史講座「石河明善日記を読む—安政2年10月 東湖庄死の頃の明善—」 場所:博物館 参加者:28人 ③令和2年10月11日 みと歴史講座「弘道館訓導の日常—石河明善日記に見る日々の生活—」 場所:博物館 参加者:30人 ④令和2年10月27日～令和3年3月21日 企画展「江戸氏の野望—常陸戦国に名を遺した武家の歴史—」 場所:埋蔵文化財センター 来館者:1600人 ⑤令和2年11月8日 みと歴史講座「戦国期江戸氏と中世城館」 場所:博物館 参加者:31人 ⑥令和2年11月8日～令和3年2月21日 縄文ファッションストリート展 場所:埋蔵文化財センター 参加者:125人 ⑦令和2年12月1日～12月27日 内原郷土史義勇軍資料館内スタンプラリー 場所:内原郷土史義勇軍資料館 参加者:137人 ⑧令和2年12月5日～令和3年1月11日 企画展「戦争ってなに? かなしみと腹ペコの日々」 場所:博物館 来館者:1181人 ⑨令和3年2月8日～令和3年12月26日 パネル展「渋沢栄一と水戸の人々」 場所:二の丸展示館 ⑩令和3年2月9日～令和3年3月14日 企画展「昭和浪漫 思い出の宝宝箱」 場所:博物館 来館者:5731人		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	本年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となったイベントが多くあるため、感染症対策に努めながら、今後も引き続き、本市の歴史的資源について、地域に向けた積極的な発信に努めるとともに、本市の魅力向上に向けた普及・啓発事業を推進する。	
状況を示す写真や資料等		
		
①文化財ライトアップ		③みと歴史講座
		
④企画展「江戸氏の野望」		⑦内原郷土史義勇軍資料館スタンプラリー
		
⑧企画展「戦争ってなに?」		⑨パネル展「渋沢栄一と水戸の人々」

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

令和2年度		令和2年度
報道等タイトル	年月日	掲載紙等
水戸市地域文化財「保和苑」を認定(保和苑)	令和2年4月4日	毎日新聞
チケット購入者14万人強 梅まつり昨年の3割(梅まつり)	令和2年4月2日	読売新聞
梅まつり来場者63%減 水戸市 外出自粛で(梅まつり)	令和2年4月14日・17日	茨城新聞・読売新聞・毎日新聞・東京新聞
黄門まつり 初の中止 水戸市「安全確保が困難」(黄門まつり)	令和2年4月25日	茨城新聞・読売新聞・朝日新聞・毎日新聞
偕楽園に飲食機能 県魅力方針 通年の誘客目指す(偕楽園)	令和2年5月8日	茨城新聞
黄門まつり中止ネットでイベント(黄門まつり)	令和2年6月24日	NHK
陰から陽こそ真価 偕楽園、魅力向上へ 県、「表門」入園誘導を促進(偕楽園)	令和2年7月27日	茨城新聞
ヒカリモ 黄金の輝き守れ(文化財)	令和2年8月11日	毎日新聞
「一橋徳川家の名品」第1弾 重文中心に資料28件出品(文化財)	令和2年8月20日	茨城新聞
一橋徳川家資料 お披露目 県立歴史館重文指定答申で(文化財)	令和2年8月26日	読売新聞
偕楽園周辺の魅力向上へ(偕楽園)	令和2年8月27日	東京新聞
偕楽園で秋を満喫 9月5日～水戸の萩まつり(萩まつり)	令和2年8月27日	よみうりタウンニュース
江戸後期の「闘い」今に伝える 弘道館で資料展示(弘道館)	令和2年9月10日	東京新聞
水戸のヒカリモ輝き守れ(文化財)	令和2年9月12日	産経新聞
水戸城址復興祝い催し 東照宮祭礼行列に合わせ(水戸城)	令和2年9月16日	茨城新聞
御城印 水戸城で完売の人気(水戸城)	令和2年9月29日	東京新聞
水戸城 角櫓と土塀 復元工事ほぼ完了(水戸城)	令和2年10月16日	読売新聞
秋季例大祭 神事のみ実施 水戸、吉田神社(文化財)	令和2年10月20日	茨城新聞
一橋徳川家の名品展 水戸(文化財)	令和2年10月20日	NHK
コロナが直撃 収入想定45% 偕楽園有料化(偕楽園)	令和2年10月31日・11月6日・16日	東京新聞・読売新聞・茨城新聞
水戸の梅まつり 緊急事態期間は中止 開催可否、方針決まる(梅まつり)	令和3年1月28日・29日	NHK・茨城新聞・読売新聞・毎日新聞・東京新聞
偕楽園周辺、用途変更へ 水戸市 観光充実視野に緩和	令和3年2月11日	茨城新聞
「水戸の梅まつり」3月1日から(梅まつり)	令和3年2月22日・23日	NHK・産経新聞・読売新聞・東京新聞・朝日新聞
弘道館 パネル展示 大河で注目の渋沢栄一展(弘道館)	令和3年2月25日	よみうりタウンニュース
コロナで延期の梅まつり始まる(梅まつり)	令和3年3月1日～3日	NHK・産経新聞・読売新聞・茨城新聞・日経新聞・東京新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
動きの多い偕楽園周辺の報道が多くあった。また、本体工事の完了した二の丸角櫓の報道がされた。新型コロナウイルス感染症の影響で、歴史的風致に関する祭りやイベントの開催に影響が強いられたため、報道に多く取り上げられた。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		

陰から陽こそ真価

備前園の魅力を見直し、異がハード、ソフト両面からの取り組みを加えていく。開園当初にめられた「陰から陽の世界」を体感させるため、これまで利用のなかった正門に当たる「路」への入園誘導を始め、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

（備前園・園長）



■東門利用の割合

備前園は水戸市の代名詞、主として水戸市市民の憩いの場として利用されている。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

県、表門「入園誘導を促進



また、年間約100万人が利用する水戸市立備前園の表門に、入園誘導の看板を設置する。

■出入り口制限

水戸市立備前園に当たる「路」の体感を促すため、出入り口を制限する。

水戸市立備前園は、開園当初から「陰から陽の世界」を体感させることを目指している。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

■飲食機能充実

また、ハード面の魅力向上策にも乗り出す。水戸市立備前園は、開園当初から「陰から陽の世界」を体感させることを目指している。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

来年GW

水戸城址復興祝い催し

東照宮祭礼行列に合わせ



音楽演奏や光の演出

水戸市は、今年5月の「水戸城址復興祝い催し」の一環として、東照宮祭礼行列に合わせて、水戸城址の復興を祝う音楽演奏や光の演出を行う。水戸市立備前園は、開園当初から「陰から陽の世界」を体感させることを目指している。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

水戸市は、今年5月の「水戸城址復興祝い催し」の一環として、東照宮祭礼行列に合わせて、水戸城址の復興を祝う音楽演奏や光の演出を行う。水戸市立備前園は、開園当初から「陰から陽の世界」を体感させることを目指している。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

水戸市は、今年5月の「水戸城址復興祝い催し」の一環として、東照宮祭礼行列に合わせて、水戸城址の復興を祝う音楽演奏や光の演出を行う。水戸市立備前園は、開園当初から「陰から陽の世界」を体感させることを目指している。開園当初は、園内各所に休憩所や飲食・休憩機能も充実させる。観光地としての魅力や利便性を高め、通常の遊園地と差別化していく。

※茨城新聞より転載許可済み

茨城新聞
「水戸城址復興祝い催し」
令和2年9月16日付

評価軸⑥-1

その他(効果等)

評価対象年度

令和2年度

項目

水戸市への観光客数の推移

計画に記載
している内容

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

本市の観光入込客数は、平成29年までの数年間は増加傾向であったが、平成30年には減少となり、令和元年は若干増加となった。細かく数値をみると、大きく数値が増加したのは7月及び9月で、これは水戸黄門まつりの花火大会が7月に開催されたことや水戸まちなかフェスティバルや茨城国体の開催が要因と考えられる。(令和2年度末時点での最新情報、「令和元年観光客動態調査(茨城県)」を基に評価)。

他方で、本市の歴史的風致を構成する代表的な歴史的資産である、「弘道館」及び「偕楽園」については、平成30年度までは概ね横ばいと言える推移であったが、令和元年度から大きく減少した。要因としては、令和2年初頭から発生した新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休業、外出自粛の影響などが挙げられる。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

□計画の進捗に影響あり

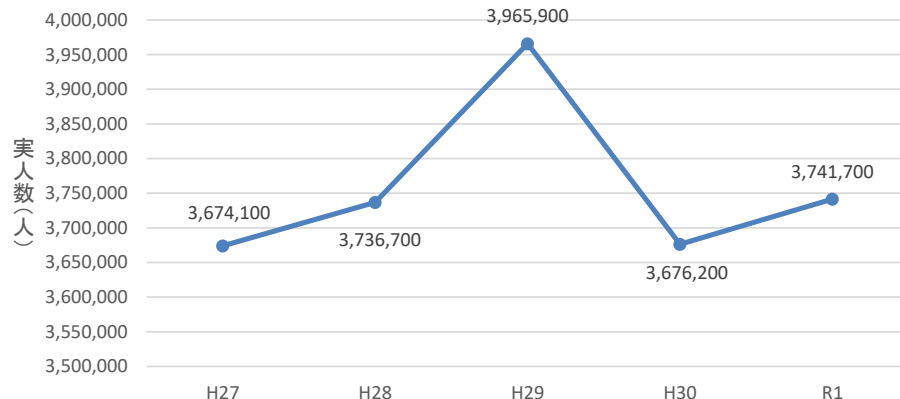
■計画の進捗に影響なし

新型コロナウイルスに関しては、現時点で収束していないので、次年度におけるイベントの開催は、参加人数の制限や会場レイアウトの工夫などを行い、感染防止対策を十分に講じていく。

水戸城大手門及び水戸城二の丸角櫓については、その魅力を市内外に継続的に発信していく必要がある。

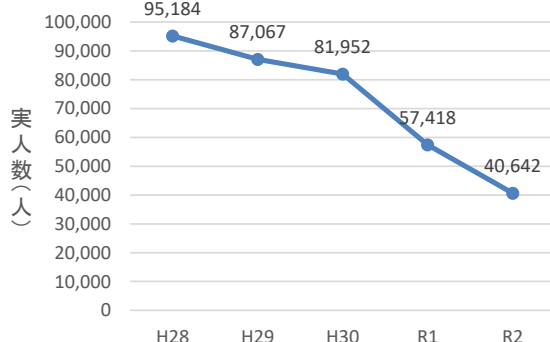
状況を示す写真や資料等

水戸市観光入込客数(H27～R1(暦年))

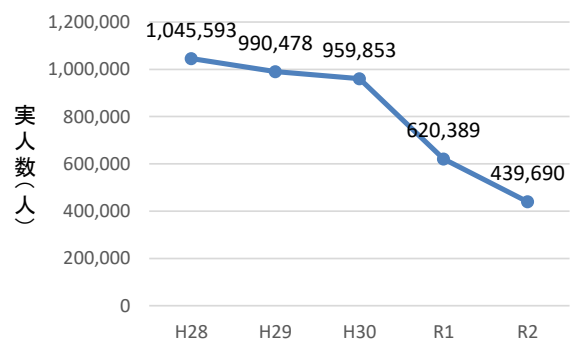


※茨城県「令和元年観光客動態調査」を基に作成

弘道館来館者数(H28～R2(年度))



偕楽園来館者数(H28～R2(年度))



※水戸市作成

評価対象年度	令和2年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称: 令和3年度第1回水戸市歴史的風致維持向上計画協議会	
会議等の開催日時: 令和3年7月6日(火) 午後1時30分～午後2時30分 (会場: 水戸市役所3階 教育委員会室)	
(コメントの概要)	
1 進捗・評価シートについて (1) 水戸市景観計画の活用について(2頁) 事業者の弘道館・水戸城跡周辺地区の景観計画に対する協力や理解が進んでいる。今後も引き続き周知に努め、歴史的景観を意識した取組をより推進できるようにしていただきたい。 (2) 偕楽園公園整備事業について(4頁) 偕楽園の整備について、文化財整備にそぐわない事業が認められ、文化財の保護・保存・活用に対する正しい理解と広い視野、長期的な見通し等が欠けている。「偕楽園(史跡及び名勝常磐公園)保存活用計画報告書」に基づき、偕楽園の歴史的・文化的な価値を損なわないような整備を実施していただきたい。 (3) 水戸城大手門・二の丸角櫓復元整備事業について(6頁) 二の丸角櫓への歩行者通路の周知が不足している。弘道館・大手門・二の丸角櫓等の弘道館・水戸城跡周辺地区の回遊性が機能するように案内板を設置するなど、周知に努めていただきたい。 また、これらの活用については、長期的な展望にたって検討していただきたい。 (4) 歴史的風致情報発信推進事業について(16頁) 水戸市地域文化財について、HPや広報誌において周知を実施している。認定件数の増加に向けて、今後もさらなる周知に努めていただきたい。	
	
協議会の開催状況	
(今後の対応方針)	
・本市ならではの歴史と風格の感じられるまちづくりを目指し、県や関係機関との連携を密にし、計画内事業を適切に推進していく。	